

2019 年度 11 回理事会(拡大運営委員会) 議事録

開催日時:令和 2 年 3 月 24 日(火) 15:00~16:30

開催場所:静岡商工会議所 401 会議室

出席者:(理事)久保田光二(議長)、森永春二、稲葉豊穂、漆畑晃司、岸本道明、小林裕敏、
白崎利哉、村松克己、渡邊治彦

(監事)

事務局:桜井俊秀

委任状:石井潔、北川幹根、齊藤弘幸

部会長:米良直樹(人材育成・教育部会)、磯田憲一(ビジネス・マッチング部会)、渡辺篤
(人材開拓推進部会)

オブザーバー出席:前田憲吾(静岡市商工部経済政策課主事)、新庄大輔(同市総務局
ICT 推進課副主幹)

欠 席:(監事)上田和博、吉兼正哲、小谷勇

(相談役)鈴木佐太郎

(以上、敬称略)

1. 開会

森永副理事長あいさつ(要旨)

今日は拡大運営委員会ということで、三人の部会長に出席いただいて、令和 2 年度の活動計画が論議の主になります。あとひとつは、コロナ対策として、何かあった時に理事会あるいは総会をどうやって行うのか、またはウェブ会議等々による対策の話、そして新しい理事の追加ということが議題になると思います。

なおかつ、時間も 2 時間を予定しておりますが、こういった時期ですので、できるだけ短い時間で終わるように、濃厚接触は避けて進めて行きたいと思います。

コロナウイルス感染により、イギリスでは全国にわたって外出禁止となり、フランスでは学校を 9 月まで休校にすることを検討しているそうですが、オリンピックも当然ながら来年か再来年に延期になるだろうというような話が出ております。

世の中ではいろいろ話が出るたびに、クラスターとかオーバーシュートとか、もしくはロックダウンとか、なんとなく聞きなれない言葉が出てきて、ああいう言葉を聴くと不信感が出てくるような感じがします。もっと日本語でちゃんと説明をして欲しいなという感じが致します。

ただ、国がどうだということに関係なく、自分の会社が、経営の一翼を担っている身としては、今まで経験したことのなかったことが今起きているので、やはり BCP 等の観点から対策を打たなければならない。ただ、誰も経験したことのないようなことですので、私たちもどれが正解でどうしているのか、どうしたほうが良いのかという答えが出てこないため、迷いながらやっているということが現状です。

ですから、人に会った時に、「今、会社はどうしている?」とか「我が社はこんなことをしている」といったことについて情報交換しながら軌道修正をして行くなどといった

ようなことをリスクヘッジのためにやっているわけですが、先程言いましたように「正解のない中での対応策」ということで非常に悩みながら、また世の中暗くなっているといったようなことになっております。

こうすることで、我々が今後どうして行くのかということにかかわって来ますし、議題の中にも皆さんと論議する場もありますから、この4月の理事会から5月の総会に向けて電磁決済のようなことも想定され、皆さんのお知恵をお借りしながらやって行ければなと思っておりますので、今日も宜しくお願ひしたいと思ひます。

(1) 報告事項

① 事務局報告

1) 会員親睦ゴルフ大会参加状況

*4月15日予定の会員親睦ゴルフ大会参加状況は、現在以下の通り(齊藤理事)

1. 久保田様 静鉄情報センター
2. 山口様 静鉄情報センター
3. 渡辺様 マーズコンピュータ
4. 塚原様 LTS
5. 野田様 LTS
6. 國井様 LTS
7. 園田様 富士通
8. 森永様 浜名湖頭脳センター
9. 細川様 浜名湖頭脳センター
10. 齊藤様 コサウエル
11. 佐藤様 コサウエル

*村松理事(電算インフォメーション)から本日参加表明があり、本日欠席の北川理事には、磯田部会長を通じて参加を依頼(翌日までに、15名に達しました)

2) 小谷監事暫時休会届け

*腰痛のためしばらく休会

「総会の監査もお二方にお願ひしたい」との要請があった

② 運営委員会報告

- 1) 人材育成・教育研修部会
・総会(5/29)記念講演講師を富士通株に依頼(内諾済み)
- 2) ビジネス・マッチング部会
- 3) 人材開拓推進部会

(2) 協議事項

- 1) 次年度事業計画案
 - 2) 三部会事業計画案
- } 別紙参照

*別紙「令和2年度事業計画案」に従って、「事業計画の概要」を事務局長から、「三部会事業計画案」を各部会長から説明し、協議を行った。

i) 事業計画概要に関する議論

- ・「30周年」に関する事業については何か特別なことを考えているか？
- ・予算措置も含め、記念事業的なものは考えていない
- ・ただ、30周年という節目の年に「創始の精神」を探るということはあるので、いろいろな事業に「冠」を付して、30周年であることを周知あるいは会員が意識するようにしたい
- ・ロゴタイプのデザインなども取り入れたいと考えている
- ・新聞記事にも掲載されるよう依頼をかける
- ・カネをかけず「発想」でカバーしたい
- ・文中で「創始の精神」と謳っているが、そもそも原点が何なのかを確認した方が良い
- ・我々も立ち上がりから30年経って環境も変わっているわけだから、「創始の精神プラスアルファ」が本当は必要だと思う
- ・「プラスアルファ」をどう加味するかということも含め30周年は節目だと思うので、「原点に戻る」ということと、30年前とは違う環境にあるわけだから、我々の役割を再度見直すというようなところが大事かなと思う
- ・それには、「我々の地域における役割」というものを明確にして行くということが一番大事だと思う
- ・当協会のユニークなところ(ベンダーだけでなく、ユーザーや大学や公共機関等が会員として所属)は、初代会長が「情報の産業化」と「産業の情報化」を謳ったことにあるということで、これを念仏として唱えるのではなく具現化するために各部会の事業に取り込んでいただくよう本日お願いしたところ
- ・我々IT(ICT)技術者は、地域住民や産業に対してどのような貢献ができるかということが一義的にあると思うので、部会で実施するセミナーや講習会も、ただ単発に実施するのではなく、元にそのようなことがあることを理解したうえで実施していただきたい
- ・当協会にユーザー会員が存在するものの、まだその特性が活かし切れていない
- ・あらゆる産業にITが浸透している現在、協会事業の研修等もユーザー企業との接点をどうやって設けて行くかが問われる
- ・IT企業だけの協会ではなかなか力を発揮できないが、ユーザー企業との接点を見出すことで我々の役割も見えてくるので、本日3人の部会長さんがいらっしゃるので、そういったことを頭に置きながら事業計画を立てて活動していただくことが非常に大事なことではないか
- ・設立から年月を経て、やるべきことも変わっている。創始の精神に立ち戻ることは良いことだが、今後我々の役割がどうあるべきかを考えることが

大事なので、ユーザー企業、大学、我々との連携を深める場ためにこの協会が存在するということを活動の中で整理し、実践して行くということではないかと思う

- ・総会で「メッセージ」を発信した方が良いのではないか？
- ・協会のホームページにも書いてはあるが、改めてメッセージを発信することが必要
- ・5月の総会の前に2回理事会があるので、そこで簡潔にまとめた、我々からのメッセージというものを考えて行く、これが今後の新しいメッセージとなる
- ・メッセージ案は5月理事会で最終検討をするので、早めに通告をする

ii) 各部会計画案に関する議論

「事業骨子」について、別紙事業案の基づき各部会長から説明があり、それを受けて下記の議論となった

a. 人材育成・教育研修部会(米良部会長)

- ・高校生に対するプログラムは、次世代の担い手取締役の情報交流というよりも、このような活動を積極的にやっていただき有難い
- ・テレワークのセミナー企画も、なるべく早めにタイムリーにやった方が良くと思うので、検討頂きたい
- ・総会を経ないと決定できないということもあるだろうが、皆様の役に立つことが大事なので、その点よろしく願いたい
- ・早くやろうと思えば(総会のことは別として)、やることは可能か？
- ・講師の先生、会場確保さえ適えば可能
- ・必要であれば、総会前でも実行すべきではあるが、コロナウイルスのこともあり、なかなか判断に窮するところもある
- ・「今知りたい」というニーズがあるので、まず「どのようにしたらよいか分からない」という層に対する情報発信を急ぎ、もう少し掘り下げた内容(「働き方」について等)について対処法や解決法についての貴重な情報提供も可能になるのではないかと思うので、8月よりなるべく早く実施した方が良く
- ・これまでは、大分以前からテレワークといったことは言われ続けていても実現していなかったものが、今回はいや応なしにやらざるを得ない状態にある
- ・利用者(経営者など)に対するサービスなので、なるべく早く実施することが有効ではないか
- ・会社の中に感染者が出た場合、どのように対処するか、という恐れがあり、そのような場合はいきなり自宅待機せざるを得ず、「テレワーク」という言葉の前に実際直面する問題があるので何とか実現したい
- ・既に自社でも実際にそのようなケースが起こっている
- ・一度だけの開催ではなく、テーマを分けてシリーズ化しても良いのでは？

- ・ウェブセミナー等も活用して実施したらよい(情報産業協会なので積極的に対処すべき)
- ・動画配信も使える(「新卒のかんづめ」のように、観たいときに何度でも見ることも可能)
- ・こういうことこそが協会の存在意義にも通じるのではないか？
- ・継続することで、我々の存在や役割が見えてくる
- ・情報を扱う協会としては、何よりも優先して実施すべき課題
- ・海外視察については、状況次第で中止もあり得るが、国内の先進事例等に振り向けても良いだろう

b.ビジネス・マッチング部会(磯田部会長)

- ・次年度は定例会の回数を増やすが、会場は会議所の会議室を継続して使用するため、費用はあまりかからないので、昨年度の予算程には支出も少なく、また大きな収入を期待することも不要になる
- ・静岡商工会議所との連携については、担当者がこれから相談させて頂く
- ・今回「例会」ということで、やりたかったことなので是非お願いしたい
- ・運営が大変だと思うが、会員各社の関心あるテーマ設定により多くの会員の皆さんに呼びかけていただきたい
- ・例会は、理事会に引き続いて開催するので、食事の提供もなく、せいぜい軽食程度を考えている(ビールなどの提供を求める声あり、検討する)
- ・理事会社だけでなく、広く会員に呼びかけ裾野を広げて頂きたい
- ・ICT 会員だけでなく、一般会員の参加を呼びかける
- ・このことも総会時に強く広報したい

c.人材開拓推進部会(渡辺部会長)

- ・今年度のウェブセミナーでは、今年9月末まで繰り返し視聴が可能ということで、大学等に PR したところ、大学でも学内説明会を中止しているため、「大学にとっても学生にとって有難い」という、首都圏のいくつかの大学からの声もあった
- ・今年度、後半になってインターンシップのチラシを作成し、ウェブセミナー参加企業の URL を記載して、「いつでも見ることができる」との触れ込みで100大学に配布し、今後も中京方面などにも配布予定
- ・SBS からは、他企業のサイトより視聴率が10%程度高いと聞いている
- ・学生がウェブを通じて調べる時、協会として出ているので、一企業からの情報より安心して見ることができるというところがポイントになる
- ・今月中に SBS から視聴率のデータを入手予定
- ・次年度は、ウェブセミナーの参加費用を一部負担していただくが、ウェブセミナーなのでオンデマンドで繰り返し視聴可能であることを納得いただければ、費用対効果の面で有償でも充分価値がある

- ・大学関係は本来会費免除ということだが、静大は2万円の会費支払いを頂いているなど、線引きが不明確になっているので再度調べる
- ・静大以外は、協会とのパイプ役が不在でありうまく機能していない
- ・大学(特に私学)はトップから情報を流さないと上手く伝わらない
- ・常葉大学は SIIA に未加入なので、今後訪問して依頼したい
- ・大学に「IT」分野のことが伝わり切れていない
- ・今回コロナの影響もあって、説明会が開催出来ない中でのウェブセミナー効果は大きかった
- ・協会として掲載することで様々なジャンルを見ることができ、大学にとっても有効だった
- ・今後は、この事例を見て参加を希望する企業が増えると思われる
- ・今がチャンスなので、どんどん声をかけていくのと、大学にどうやって訴求するかを考えなければならない
- ・学生に認知してもらうために、インターンシップも利用しながら、学生同士の横の繋がりも活かすよう、「ロコミ」が最終的には成否のカギを握る
- ・今後は「ノーキン」を通じて、静大以外の学生層にも伝わるような検討中
- ・大企業は「ワンデイ・インターンシップ」の名で企業見学会に使っている
- ・協会としてまとめてやる分には「インターンシップ」として認められる
- ・まずは、大学への働きかけを行うことと学生に如何にこのサイトを知ってもらうかを部会で考えてもらう
- ・大学(常葉大学等)への働き方については協会としても動いて行きたい

以上総括して、総会を簡単に終えることなく、部会長から直接話をさせていただくことが、総会参加者にも大きく響くと思われる。そのことから、事業や活動の内容がより明快に理解頂けると思う。

今後、総会の進め方について副理事長と事務局で相談の上、それぞれのリーダーの方からも直接お話いただくことが訴求力も増すことが考えられる。また各部会長にはお願いすることになると思うので、その時は宜しくお願い致します(森永議長)

3) 理事交代の件(岸本理事静岡大学退任＝SIIA 退任の意向を受け)

- ・SIIA 総会をもって理事退任の意向
- ・新理事に(株)ユニテック代表取締役社長山本和正氏の推薦(鈴木相談役より)
- ・理事退任および新任決議を総会決議事項に加える

この件について協議した結果、理事からも岸本理事の留任を求める声が多くあり、岸本理事から、「近く石井学長とも相談して態度を決めたい」との発言を受け、今回は一旦岸本理事の辞任については保留して、次回理事会での継続協議とすることになった。

- 4) COVID-19による今後の会議(総会含む)、イベントの対応について
- 5) 理事会、総会時の遠隔会議の検討(Zoom、Sli.do、YouTube LIVE、TwitCasting LIVE(ツイキャス)等)

*4および5項は、副理事長と事務局で引き続き検討を進める

**最後に、会計担当の村松理事から、本年度決算にあたり、現在までの予算執行状況の報告があり、昨年度より20万円程度多く繰り越しがでる予定であることの説明があった。

(3) 連絡事項

- 1) 次回理事会:4月21日(火) 15:00~17:00
会 場:静岡商工会議所 403 会議室